

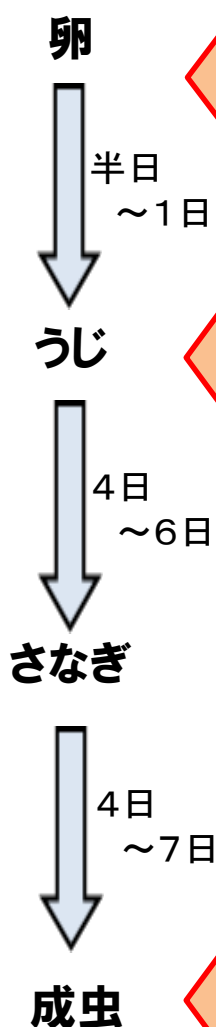
家畜衛生情報



ハエの防除対策をしましょう

数日前から気温が上昇し、そろそろハエの発生が始まる時期となりました。対策を怠ると大量発生し、家畜のストレス・病原体の媒介・近隣からの苦情など深刻な弊害が生じます。薬剤を適切に使用し、効率的な防除に努めましょう。

ハエのライフサイクルと対策



★卵・幼虫対策★

1. 産卵場所となる蓄積された糞やこぼれ餌などの清掃
2. 堆肥発酵熱によるうじの退治
発酵熱が50℃以上で致死率は高くなるため、1～2週間間隔で堆肥の切り返しを行いましょう！
3. 殺虫剤の散布(幼虫用)
うじの発生場所である糞や堆肥に脱皮阻害剤(IGR剤)を希釈して1か月毎に散布しましょう。
* 4月頃から始めることが重要です！
* ハエが増えてきたら散布回数を2週間間隔に増やしましょう。
* 薬剤の濃度を守り、十分な量を均一に散布します。散布する間隔が空き、薬効に切れ目をつくると十分な効果が得られません。

成虫よりも数が多い卵や幼虫への対策が効果的です！

★成虫対策★

1. 粘着シートの設置
牛舎と外部の境界や飼槽付近に、地面から高さ1m以内での設置が効果的です。
2. 殺虫剤の散布(成虫用)
ハエが畜舎内に入る曇天や雨天時がチャンスです。有機リン剤や合成ピレスロイド系の殺虫剤が効果的です。
* 薬剤抵抗性による効果減弱を防ぐため、使用薬剤を複数交互に用いるとよいでしょう。
3. 毒餌
ハエを引き付ける餌(砂糖、お酒など)と有機リン剤やカーバメイト剤など薬剤を混ぜてハエ集まる場所に設置または塗布します。

◎成虫が少ない春先から予防的に対策することが重要です◎